



# るるるる



2023年  
4月  
No.904

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

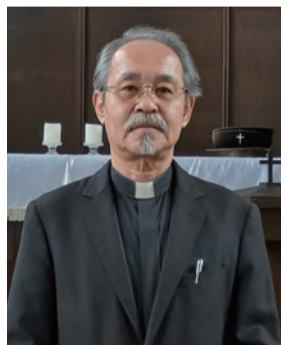
■発行人 ■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp  
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定価 ■ 1部 40円(郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教 「笑顔で、寄り添う」

日本福音ルーテル市川教会・津田沼教会牧師 中島康文

「今泣いている人々は、幸いである、あなたがたは笑うようになる。」

ルカによる福音書6章21節



伊藤貞奈

⑳「みんな違って」

「深い地の底も御手の内にあり／山々の頂も主のもの。／海も主のもの、それを造られたのは主。／陸もまた、御手によって形づくられた。」(詩編95・4〜5)

「味気ないなあ…」そのように思ったのは最近よく使うようになった冷凍食品の『野菜のみじん切り』を見た時でした。

少し前に自分が「子どもは機械で切った野菜ではなく、手で切った色々な形をしている野菜のほうが良い」と言ったことを思い出します。

この前、久しぶりにいつもの買わないお店できゅうりを買いました。袋の中のきゅうりは太くて真つすぐできれいに並んでいました。いつも買うお店のきゅうりは曲がっていたり、真つ直ぐだったり、太かったり、細かったりいろいろあります。

いつもと違うお店で買ったきゅうりを見て異様な感じがしました。でも何度か野菜が山積みになったお店でなるべく大きくて太く真つすぐな野菜を選んで自分もいました。

自然のまま、ありのままに存在しているものを私たちが便利に利用しやすく見栄えが良いように改良してしまっているのかもしれないと思つた時、自然のまま、ありのままに存在に安らぎを感じたり、自然の中で本来の自分を取り戻す人も少なくないような気がしました。

なんでだと思えます？それは自然やありのままの存在は神様からの命の存在だからです。自然が特別なわけではありません。神様から造られたあなたも用いられます。

1983年4月2日、その日はイースターの前日、私は黒崎教会(既に解組)で最初の礼拝を迎える準備をしていた。按手を受け、牧師として最初の礼拝に、緊張しつつも熱い意気込みを抱いていた私に、友人から電話があつた。「るつちゃん、死んだ!」と。意味が分からず黙している私に、友人は「フィリピンで溺れた子どもを助けようとして飛び込み、子どもは助かったけど彼女は亡くなった」と状況を説明してくれて電話は切れた。

藤崎るつ記さんは旧日本ルーテル神学大学福祉

コースの学生で、私より2学年下級生であつた。同じボランティアクラブに所属していたこともあつて、食堂で一緒にいるといろいろな話をしてくれた。笑顔を決やさない活動的な学生で、卒業後フィリピンに留学して1年後のことであつた。それから17年後、私は市川教会に着任した。数カ月たったある土曜日の午後、笑みをたたえた白髪の男性が教会の庭に立つておられた。藤崎信牧師、るつちゃんのお父様であつた。近くにある信徒の方が始めた教会で月1回説教の奉仕をしていること、ルーテル教会だった

「助け合うことは大事です。しなきゃならないけど、それがすごくいいことをしているかのように勘違いしてしまう。聖書の中に勘違いさせる言葉引用者注・マタイ25・35〜36)があるんです。『私が釜ヶ崎に行つて労働者から気づかされたことは、『そんなこと引用者注・食事支援等)で得意顔をするな』ということでした。誰が好きこのんで人からものをもらつて生活したいと思ふか。どうして、にこやかに『ありがとう』と返事ができるか。そういう訴えだつたわけですよ。『調べてみたら、なんと原文はちゃんと釜ヶ崎の仲間たち



市川教会のイースター飾り(2021年)

から寄つてみたとのこと。それからは殆ど毎月のように訪ねてくださつては「元氣ですか?」と笑顔で声を掛けてくださつた。るつちゃんがそうであつたように、笑顔で寄り添うことは多くの言葉よりも慰めや励ましになることを、私はお会いするたびに感じていた。

「ユダヤ人を恐れて家の戸に鍵をかけていた」ヨハネ20・19弟子たちのところに来られたイエスは、どんな表情をされていたのだろう。手とわき腹をお見せになりつつ、表情は穏やかで微かな笑みをたえておられたのではないだろうか。だからこそ彼らは「主を見て喜んだ」(同20・20)のだ。エマオの途上(ルカ24・13以下)、暗い顔の2人の弟子が主イエスの十字架の死と空の墓のことを話しているのを聞き、一緒に歩きながらイエスはどんな表情をされていたのだろう。ガリラヤ湖畔に戻つていた弟子たちに現れたイエスは(ヨハネ21・15以下)、ペトロに三度「私を

愛しているか」とお尋ねになりながら、どんな表情をしておられたのだろうか。穏やかで微かな笑みをたえたイエスを思い浮かべたとしても、決してそれは間違つていないだろう。主の十字架と復活の出来事は、私たちの恐れや不安を取り除くためであり、私たちが笑顔を取り戻すための道だから。

「助け合うことは大事です。しなきゃならないけど、それがすごくいいことをしているかのように勘違いしてしまう。聖書の中に勘違いさせる言葉引用者注・マタイ25・35〜36)があるんです。『私が釜ヶ崎に行つて労働者から気づかされたことは、『そんなこと引用者注・食事支援等)で得意顔をするな』ということでした。誰が好きこのんで人からものをもらつて生活したいと思ふか。どうして、にこやかに『ありがとう』と返事ができるか。そういう訴えだつたわけですよ。『調べてみたら、なんと原文はちゃんと釜ヶ崎の仲間たち

ちの思いにそうようなことがきちんと書いてあつた。『私が飢えていた時、自分で食べていけるようにしてくれた。私が渴いでいた時、自分で飲めるようにしてくれた。』ない人には施してやれ、ということではなかつたのです。(本田哲郎神父、2011年7月8日真宗大谷派圓光寺での講演より)主イエスが十字架に付けられ復活されたのは、単に恵みとして与えられたのではなく、私たちが地上の命を喜んで生きるため、何よりも私たちが笑顔を取り戻せるようにと、罪を贖い、死への恐れを取り除いてくださったのではないだろうか。

笑顔で寄り添つてくださる主は、十字架と復活を受け入れた私たちに告げてくださいます。「あなたがたは笑うようになる」と。

(参考・藤崎るつ記記念文集編集委員会編『るつちゃんの旅立ち』ポトラシンの海で命をさげして』キリスト新聞社1984年)

「キリストに支えられ、育てられ、成長し、社会に仕える教会となる。」

聖句「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」(テサロニケの信徒への手紙一 5:16-18)

日時 2023年5月3日(水)14時〜5日(金)12時30分

会場 日本福音ルーテル教会 宣教百年記念東京会堂(東京教会)にて

主な議案: 諸報告、選挙、教会組織変更の件、教区規則改正の件、第7次総合方策の件、アジア宣教の件、ハラスメント常設委員の件、決算・予算の件

全国教師会総会

日時 2023年5月2日(火)14時30分より

会場 日本福音ルーテル教会宣教百年記念東京会堂(東京教会)にて

第29回 日本福音ルーテル教会 定期総会



く責めた。自殺を図ったのは二十歳の春だった。◆ガソリンをかぶった。精神科医の忠告で彼の行動を見守っていた父親は、その瞬間、息子を抱きしめた。自らもガソリンにまみれて叫ぶ。「強、火をつけろ」。抱き合い、二人は声をあ

### 「共死」の覚悟に裏打ちされた愛

「ところが、まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、隣りに思い走り寄って首を抱き、接吻した。(ルカ15・20b) イースターおめでとうございます。ある新聞記事を「紹介させていただきます。斎藤強君は中学一年の時から不登校になる。まじめで、ちよつとしたつまずきでも自分を厳し

校の子どもたちに積極的に取り組んできた。彼らのためにフリースクールと全寮制高校も作り、一昨年、吉川英治文化賞を受賞した。◆この間にかかわってきた症例は三千を超える。その豊富な体験から生まれた近著「不登校で泣き続けた」一緒に死んでくれるほど、父親にとつて自分がかげがえのない存在なのか。あの時生まれて初めて、自分は生きている価値があるのだと実感できた。強君は後にこの精神科医、森下一さんにそう告白する。◆森下さんは十八年前、姫路市に診療所を開設、不登校の子どもたちに積極的

### 世界の教会の声

浅野直樹 Sr.  
(世界宣教師事  
市ヶ谷教会・スロバキア教会牧師)

#### ポスト共産主義を生きる教会

スロバキア共和国のルーテル教会アウグスブルグ信仰告白教会監督が、ポスト共産主義を生きる教会について語ったインタビュー記事を抜粋して紹介いたします。イバン・エルコ監督は冷戦時代のチェコスロバキアで牧師の家庭に育ちました。「共産主義が終わるなんて考えてもみませんでした。1989年まで私は自分の信仰のせいで死ぬと思っていましたから。終わってみて新しい自由な国になり、私の問いは信仰をどう生きるべきかにかかわりました。」

牧会歴30年のエルコ牧師は、スロバキアのルーテル教会の監督として地域の教会の課題と向き合っています。共産主義の時代に人々が問うたのは、神の存在を信じてもよいか否かというわかりやすいものでしたが、「現代は白か黒かという問いではありません。信仰の方向付けをするのが難しくなっています。」色というならすべての色のスペクトルがあります。牧会の仕方でも人それぞれで、神様との関わりがとて複雑になりました。「父は牧師でしたが、私は牧師になるつもりはありませんでした。ルター派信徒として毎週日曜日教会に来てはいましたが、自分の将来のことなど考えてはいませんでした。信仰的なクリスチャンとは言えなかつたし、とてもおんきに過していったのですが、1982年の2月のある日、私は突如として神学を学ぶ牧師になりました」と自覚したのです。「共産主義下で神学を学ぶというのは大変でした。共産主義と私は、常に霊的な敵対関係にありました。私は共産主義時代のイデオロギーにとても困惑させられていて、それはユダヤの人々が偶像礼拝を嫌悪したことと似ていました。神の代わりにまがいのもの宗教を差し出すという共産主義のやり方に心が痛んだのです。自由と人権がないことに苦しんだのです。」

### 「教会讚美歌 増補」解説



③増補19番「キリエ エレイソン」・増補20番「神の小羊」

松本義宣  
(東京教会・東京池袋教会・板橋教会牧師)

増補19番「キリエ エレイソン」

1523年に、ルターは「会衆の礼拝式について」という小冊子で宗教改革の福音信仰に基づく礼拝のあり方を示しました。そして強い要望を受け、続い

て「ミサと聖餐の原則」をラテン語で発表します。同時期に幾つかのドイツ語による賛美歌を試作してきて、いよいよ「ドイツ語による礼拝」の必要を痛感して式文を作成し、1525年10月29日、三位一体後第20主日に始めて礼拝で試用しました。人々に歓迎されて同年のクリスマスからヴィッテンベルクの教会で用いられるようになり、翌1526年、ルターは「ドイツ語ミサ

と礼拝の順序」を著し、礼拝をドイツ語で行う指標を示しました。この「キリエ エレイソン」は、その中に掲載されたものです。ドイツ語ミサではありませんが、当時の会衆に浸透していたミサの言葉(ギリシア語の「主よ憐れんでください」)をそのままとし、伝統的な詩編トーンの第一で掲載しました(ルター著作集第一集第6巻参照)。増補でも、あえて訳さず、「キリエ エレイソン(クリステ エレイソン)」で歌うようにしています。

版では、ルターの思いを取り入れ、「イエス・キリスト」を強調して、「世の罪を取り除く」が歌詞に入りませんでした。賛告あるかと思いますが、イエス様が神の小羊なのだ」という信仰の告白の中に、「神の小羊」犠牲としての思いが込められていることを覚えて歌えればと思います。

旋律は、ルターの友人で牧師のJ・ブーゲンハーゲン(1485〜1558)が、1528年に出版した「尊敬すべきブラウンシュヴァイク市のキリスト教礼拝式文」に掲載されたものです。これは、私たちが日本福音ルーテル教会のパートナー教会である、ドイツ・ブラウンシュヴァイク福音ルーテル教会がブーゲンハーゲンの指導で宗教改革を導入した際のもので、ここに紹介してきたことを嬉しく思います。恐らく、増補19番「キリエ」の旋律と歌い出しが同じで、それをともにルターが作曲したと思われ、勿論今でもこの歌はドイツのルーテル教会で歌われ続けています。



エルコ監督(2022年9月ジュネーブでの退任会にて)

# 3年ぶりに「JELLAカンボジア・ワークキャンプ」開催！

森一樹  
(JELLAスタッフ・市ヶ谷教会)

2020年2月以来3年ぶりとなる「JELLAカンボジア・ワークキャンプ」が2023年2月13〜23日の日程で開催されました。久しぶりの開催にもかかわらず、ありがたいことに全国から多くの応募があり、10〜20代の大学生を中心に10名の参加者

が集まりました。

今回のキャンプは主に三つの目的のもと実施されました。一つ目の目的はボランティアワークを通して「人や社会に仕える」経験をしていただくことです。今回は弊財団の支援するプレスクールや、カンボジア・ルーテル教会(LCC)の社会福祉施設を訪問し、壁の塗装をしたり、日本の風景や聖書のイラストを壁に

描いたり、施設を囲む竹製のフェンスを作ったりする、ボランティアワークを行いました。

二つ目は、カンボジアの歴史的名所への訪問を通して、参加者にカンボジアの歴史や価値観を知っていただくことです。カンボジアには世界遺産のアンコールワット遺跡群や、ポル・ポト率いるクメール・ルージュの大量虐殺や、その後の独立戦争の爪痕が色濃く残る歴史的な場所があります。キャンプではそれらを訪問し、カンボジアの歴史やその根底

にある様々な価値観や文化に触れ、学ぶ機会も持ちました。

三つ目の目的は、カンボジアでの様々な経験を聖書の御言葉を通して振り返り、参加者それぞれが聖書の神様と出会っていたり、感謝の気持ちでいっぱいだったこと、今後はボランティアとして、日本福音ルーテル日吉教会牧師(キャンプ当時)の多田哲先生が同行して下さい、毎日の終わりに、参加者がカンボジアで経験した様々な体験や人との出会い、またその多様な宗教観や価値観

を振り返り、それらを聖書の御言葉を通して神様の視点から捉え直せるような「デイブレーション」をリードして下さいました。

末筆ではございますが、JELLAワークキャンプ事業へのご支援とお祈りを誠にありがとうございます。本キャンプの詳しい様子や参加者それぞれの感想レポートを弊財団のWEBページで公開しておりますので、ぜひそちらも合わせてご覧下さい！



アンコールワットと共に記念写真



プレスクール周りの竹製フェンス作りのワーク

## エキジューメニカルな交わりから

### ⑬ NCC信仰と職制委員会

立山忠浩  
(都南教会牧師)

具体的な使命がありません。各教派でも名称は異なるにしても、教派の核心的な事柄に関することでの具体的な提言を行うことではほぼ一致しています。

日本福音ルーテル教会(JELLC)に「信仰と職制委員会」が置かれているように、日本キリスト教協議会(NCC)にも「NCC信仰と職制委員会」があります。JELLCの委員会の場合は「信仰、職務、制度等に係る諸問題を検討及び研究し、意見を本教会常議員会に提言する」という

NCCのホームページに委員会の目標が掲げられていますが、各教派の委員会とは異なるのです。「教派間の対話や協働の促進」が主目的です。教派間や国内だけに留まらず、他宗教との対話やアジア・世界との連携も加えられています。さて、どのような活動

を行っているのかとなると別の課題が生じて来ます。定期的な、そして実質的な活動がなされていないのです。第一の原

因は新型コロナウイルス感染症です。昨年も対面の会は困難となりました。それに加えて、各教派から派遣される委員がそれぞれに他の重責を担っており、時間と労力を割きにくいのです。

そのような厳しい状況下でしたが、昨年10月14日にZoomでの委員会を開きました。代表(まとめ役)を担ってくださっている西原廉太先生(日本聖公会中部教区主教・立教大学総長)の呼びかけで行いました。

昨年8月31日〜9月8日にドイツのカールスルーエで開催された世界教会協議会(WCC)の「第11回総会」のレポートが主な内容でしたが、参加されたからこそ得られる興味深い情報でした。ロシアのウクライナ

を振り返り、それらを聖書の御言葉を通して神様の視点から捉え直せるような「デイブレーション」をリードして下さいました。

昨年8月31日〜9月8日にドイツのカールスルーエで開催された世界教会協議会(WCC)の「第11回総会」のレポートが主な内容でしたが、参加されたからこそ得られる興味深い情報でした。ロシアのウクライナ



## 新任J3から

Volamalala Ranaivoson



来日しました。

こんにちは、私の名前はVolamalala Ranaivosonです。私はマダガスカルで生まれ、パプアニューギニア、イギリス、アメリカ、ケニアで宣教師の子供として育ちました。そのため、異文化のコミュニケーションで多様な背景を持つ人々とつながり、関わることへの愛と情熱が私の中で育っています。私は、本郷ルーテル教会でJ3宣教師をしています。昨年の4月に

J3宣教師プログラムについて、また、英語を習得させるだけでなく、全人格をケアし、福音を伝えるという長い歴史を知ったとき、ここでその一翼を担いたい、と思ったのです。特に、本郷学生センターの「恵みの陽だまり」というミッションに

惹かれ、神様の素晴らしい恵みを地域社会に放射する居心地の良い場所となりました。過去1年間、教会と学生センターがまさにそのように機能しているのを目の当たりにし、本郷ルーテル教会の皆さんと一緒に成長できるこの機会にとっても感謝しています。

### 第28期第21回 常議員会報告

事務局長 滝田浩之

2月20～21日に東京教会会議室で行われた標記の件について、ご報告いたします。

#### (1)2023年度教職 人事、広報室長選任の件

人事委員会の提案した、2023年度教職人事が承認されました。また2023年4月1日付で、竹田大地牧師を広報室長に選任しました。これまで広報室長は東教区の教職が兼務する体制でしたが、

#### (3)2023年度実行予算 2024～2025年度 当初予算の件

古屋財務担当委員より、標記の件が提案され、総会への提案が承認されました。

2020年以来、協力金の減額に伴い公益会計において特に2021年度は収益会計からの繰入を必要としましたが、2023年度実行予算より、可能な限り協力金内で教会全体の公益活動、つまり宣教活動を行うという方向性で予算を立てていることが報告されました。これは具体的な宣教の主体は個々の教会、そして教区によるものと理解した上で、事務局はあくまでも、その活動を支える事務的な業務を中心とするという考え方に基づいています。協力金が2024年度より10%に戻ったとしても、

#### (2)2022年度 決算の件

市吉会計より、標記の件、会計監査報告と合わせて説明が行われ総会への提案が承認されました。

公益会計において2021年度決算と比べて、協力金について抛割合は同じであったにも関わらず減少している点が報告されました。感染症による影響から教会活動は徐々に回復

しつつあるものの、会計的な影響は今後波及してくるものと考えられ、注視が必要との共通理解を得たところです。

収益会計については2年連続の赤字でしたが、3年目に黒字化することができ、今後、社会活動が活発になる方向から好転する見通しが分かち合われました。

#### (4)総会日程の件

2019年度の収入を得ることは難しいという見通しも確実であり、事務局体制についてもスリム化が必要であるとの理解を確認したところです。

総会日程について、11月常議員会に提案されたものに、学校法人ルーテル学院の報告を関連事業報告とは別枠で設けることが確認されました。ルーテル学院大学・神学校は、別法人でありありますが、教会と密接な関係性があり、学校法人を取り巻く社会的環境や、学校法人の置かれた現状について分かち合われることになりました。確認される点は大学の経営状況は、神学校の維持についても大きな影響を及ぼすという点にあります。学校法人の置かれた現状を分かち合うことで相互の理解を深める時としたいと考えています。

#### (5)総会前常議員会 2023年

止に取り組んでおられ、教会内のハラスメントについて中心的に学び、共通理解を深めたいと考えています。

これまで総会当日の午前中に行われてきた総会前常議員会(第22回常議員会)を4月17日(月)午前10～12時、オンライン(Zoom)にて開催することを確認しました。各教区総会で扱われ、総会に提案される内容について主に議論される予定です。総会に提案すべき議題があれば、教区常議員会に対して提出頂きますようお願いいたします。

以上、詳しくは常議員会議事録をご確認頂けますと幸いです。



### 2023年度 日本福音 ルーテル教会 人事

中島和喜

函館教会兼任、  
札幌教会協力牧師  
の任を解く

岡田薫

札幌教会(協力牧師)

【東教区】  
河田優

日吉教会(主任)

李明生

むさしの教会(主任)

松本義宣

(2022年8月1日付)

東京池袋教会(兼任)

板橋教会(兼任)

田島靖則

田園調布教会(主任)、  
雪ヶ谷教会(兼任)

筑田仁

羽村教会(主任)、  
八王子教会(兼任)

浅野直樹 Jr.

甲府教会(主任)、  
諏訪教会(兼任)

小泉基

札幌教会(主任)

【東海教区】

末竹十大

掛川菊川教会(兼任)、  
新霊山教会(兼任)

田中博一

(2022年12月1日付)

東京池袋教会

【西教区】

秋山仁

神戸東教会(兼任)

小山茂

板橋教会

明比輝代彦

新霊山教会

大宮陸孝

賀茂川教会

乾和雄

神戸東教会

白髭義

二日市教会

黄大衛

長崎教会

【出向】

日笠山吉之

九州学院(チャプレン)



### 「オープンチャット4月1日開始」

### 「元気を出せ！教会学校！」

河田晶子  
TNG子ども部門

コロナ禍で対面でのティーンズキャンプ、ルーテル子どもキャンプが相次いで中止となり3年が経ちました。あちこちで教会学校の消滅や低迷の声を聞く中、教会学校の教師が自由に悩

みやアイデアを交換できる交流の場として、LINEを用いて「オープンチャット」を開設することにしました。次世代宣教の働きを応援します。ぜひご参加ください。



日本福音ルーテル教会  
TNG 子ども部門

